Ⅲ　アンケート結果

子どもたちにとって魅力ある学校づくりをめざすとともに、学校の適正規模及び適正配置について検討を進めるため、令和７年５月から７月にかけてアンケートを実施しました。

アンケートは、学校に関係する方から広く意見を聴取するため、保護者、小学３年生から中学３年生までの児童生徒及び地域にお住まいの方を対象に実施しました。

※　各中学校区のアンケート結果の詳細については、市ホームページに掲載しています。

保護者アンケート･･･**【保護者】**　　地域アンケート･･･**【地域】**
児童アンケート　･･･**【小学生】**　　生徒アンケート･･･**【中学生】**

１　藤山台中学校区

・小学校回答者数･･･ 398 人（保護者 180 人、児童（３～６年生）172 人、地域の方 46 人）
※ 未就学児の保護者の回答は、小学校回答者数の保護者に含む。
・中学校回答者数･･･ 266 人（保護者 102 人、生徒 164 人）

⑴　学校の適正規模等に取り組むことについて

１学年に２学級以上となるように学校の適正規模及び適正配置に取り組むことについて、「賛成」の割合は、小学校の保護者で約７割、地域の方で約９割、中学校の保護者で約８割となっています。

「ぜひ進めるべき」　又は「進める方がよい」　　と回答した方 ･･･ **賛成**
「進めない方がよい」又は「進めるべきではない」と回答した方 ･･･ **反対**

Q 小中学校ともに１学年に２学級以上必要という考えに基づき、学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて

①　小学校

学校名	区　分	賛　成	どちらでもよい	反　対
藤山台小	【保護者】	66.6%	26.7%	6.7%
	【地域】	86.9%	13.1%	0 %

②　中学校

学校名	区　分	賛　成	どちらでもよい	反　対
藤山台中	【保護者】	77.5%	19.6%	2.9%

Q 前の質問で賛成と回答した方のうち、ご自分の子どもが通う学校、またはお住まいの地域の学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて

① 小学校

学校名	区 分	賛 成	どちらでもよい	反 対
藤山台小	【保護者】	91.7%	7.5%	0.8%
	【地域】	100%	0 %	0 %

② 中学校

学校名	区 分	賛 成	どちらでもよい	反 対
藤山台中	【保護者】	94.9%	3.8%	1.3%

⑵ 複数学級を望む声について

１学年に複数学級が望ましいと考えている方はとても多く、クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができると考えています。

【小学生保護者】

・複数学級が望ましいと考えている人 98.3%

・各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じる理由で「クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」を選択した人 65.0%

【小学生】

・複数学級が望ましいと考えている児童 95.9%

【中学生保護者】

・複数学級が望ましいと考えている人 100%

・各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じる理由で「クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」を選択した人 66.7%

【中学生】

・複数学級が望ましいと考えている生徒 98.2%

⑶　学校生活において重要と思うこと

児童生徒は、クラス替えができて友達がたくさんできることや、体育大会などの行事でクラスに活気があることが大事だと考えています。

地域の方は、子どもたちの登下校や、多くの子どもたちによる人間関係の広がりを重要と考えています。

【小学生】

Q 学校生活で大事だと思うこと

・「クラスがかわって、新しい友だちがたくさんできること」 50.6%

・「みんなで相談しながらいっしょに勉強ができること」 42.4%

【中学生】

Q 学校生活で大事だと思うこと

・「体育大会などの行事が盛り上がり、クラスに活気があること」 56.7%

・「クラス替えができて、たくさんの友達をつくれること」 40.9%

【地域】

Q 地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うこと

・「子どもたちの通学の距離や方法」 58.7%

・「多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」 56.5%

⑷　魅力ある学校づくりを進めるため、学校の規模や配置を見直す場合に重要と思うこと

保護者は、子どもの人間関係の広がりを重要と考えています。

地域の方は、子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れることが重要と考えています。

【小学生保護者】

Q 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うこと

・「子どもの人間関係に広がりがあること」 60.0%

・「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」 53.3%

【中学生保護者】

Q 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うこと

・「子どもの人間関係に広がりがあること」 64.7%

・「幅広い部活動やクラブ活動が存在し、活発に活動していること」 52.9%

【地域】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって重要と思うこと

・「子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」 87.0%

・「学校と地域との連携が図られること」 30.4%

⑸　学校の適正規模等の取組において心配なこと

保護者は、登下校に関することを心配と考えています。登下校については、安全性や時間が重要と考えています。

【小学校保護者】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、心配なこと

・「登下校に関すること」 55.5%

・「環境変化による子どもへの影響」 22.2%

Q 登下校に関して最も重要だと思うこと

・「登下校の安全性」 58.9%

・「登下校にかかる時間」 29.4%

【中学校保護者】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、心配なこと

・「登下校に関すること」 53.9%

・「きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があること」 24.5%

Q 登下校に関して最も重要だと思うこと

・「登下校の安全性」 42.2%

・「登下校にかかる時間」 41.1%

２　岩成台中学校区

・小学校回答者数･･･ 754 人（保護者 339 人、児童（３～６年生）348 人、地域の方 67 人）
※ 未就学児の保護者の回答は、小学校回答者数の保護者に含む。
・中学校回答者数･･･ 335 人（保護者 152 人、生徒 183 人）

⑴　学校の適正規模等に取り組むことについて

１学年に２学級以上となるように学校の適正規模及び適正配置に取り組むことについて、「賛成」の割合は、小学校全体の保護者で約６割、地域の方で約７割、中学校の保護者で約６割となっています。

「ぜひ進めるべき」　又は「進める方がよい」　　と回答した方 ･･･ **賛成**
「進めない方がよい」又は「進めるべきではない」と回答した方 ･･･ **反対**

Q 小中学校ともに１学年に２学級以上必要という考えに基づき、学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて

①　小学校全体及び小学校別

学校名	区　分	賛　成	どちらでもよい	反　対
全体	【保護者】	58.1%	32.4%	9.5%
	【地域】	71.6%	9.0%	19.4%
岩成台小	【保護者】	60.2%	28.8%	11.0%
	【地域】	73.5%	11.8%	14.7%
岩成台西小	【保護者】	56.3%	35.8%	7.9%
	【地域】	69.7%	6.1%	24.2%

②　中学校

学校名	区　分	賛　成	どちらでもよい	反　対
岩成台中	【保護者】	61.8%	27.6%	10.6%

Q 前の質問で賛成と回答した方のうち、ご自分の子どもが通う学校、またはお住まいの地域の学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて

① 小学校全体及び小学校別

学校名	区 分	賛 成	どちらでもよい	反 対
全体	【保護者】	87.8%	9.7%	2.5%
	【地域】	97.9%	2.1%	0 %
岩成台小	【保護者】	90.8%	7.2%	2.0%
	【地域】	96.0%	4.0%	0 %
岩成台西小	【保護者】	84.9%	12.1%	3.0%
	【地域】	100%	0 %	0 %

② 中学校

学校名	区 分	賛 成	どちらでもよい	反 対
岩成台中	【保護者】	87.2%	9.6%	3.2%

⑵ 複数学級を望む声について

１学年に複数学級が望ましいと考えている方はとても多く、クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができると考えています。

【小学生保護者】

・複数学級が望ましいと考えている人 96.8%

・各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じる理由で「クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」を選択した人 66.1%

【小学生】

・複数学級が望ましいと考えている児童 85.9%

【中学生保護者】

・複数学級が望ましいと考えている人 99.4%

・各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じる理由で「クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」を選択した人 64.5%

【中学生】

・複数学級が望ましいと考えている生徒 98.9%

⑶　学校生活において重要と思うこと

児童生徒は、クラス替えができて友達がたくさんできることや、体育大会などの行事でクラスに活気があることが大事だと考えています。

地域の方は、多くの子どもたちによる人間関係の広がりや、子どもたちの登下校について重要と考えています。

【小学生】

Q 学校生活で大事だと思うこと

・「クラスがかわって、新しい友だちがたくさんできること」 46.6%

・「運動会などが楽しくて、クラスが元気なこと」 37.6%

【中学生】

Q 学校生活で大事だと思うこと

・「体育大会などの行事が盛り上がり、クラスに活気があること」 62.3%

・「クラス替えができて、たくさんの友達をつくれること」 38.3%

【地域】

Q 地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うこと

・「多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」 59.7%

・「子どもたちの通学の距離や方法」 58.2%

⑷　魅力ある学校づくりを進めるため、学校の規模や配置を見直す場合に重要と思うこと

保護者は、子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育や、子どもの人間関係の広がりを重要と考えています。

地域の方は、子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れることが重要と考えています。

【小学生保護者】

Q 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うこと

・「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」 58.4%

・「子どもの人間関係に広がりがあること」 58.1%

【中学生保護者】

Q 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うこと

・「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」 61.2%

・「子どもの人間関係に広がりがあること」 53.9%

【地域】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって重要と思うこと

・「子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」 85.1%

・「緊急時の避難場所が行きやすい場所にあること」 31.3%

⑸　学校の適正規模等の取組において心配なこと

保護者は、登下校に関することを心配と考えています。登下校については、安全性や時間が重要と考えています。

【小学校保護者】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、心配なこと

・「登下校に関すること」 55.2%

・「きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があること」 20.9%

Q 登下校に関して最も重要だと思うこと

・「登下校の安全性」 59.6%

・「登下校にかかる時間」 35.7%

【中学校保護者】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、心配なこと

・「登下校に関すること」 45.4%

・「環境変化による子どもへの影響」 28.3%

Q 登下校に関して最も重要だと思うこと

・「登下校にかかる時間」 45.4%

・「登下校の安全性」 44.1%

３　高森台中学校区

・小学校回答者数･･･　802 人（保護者 397 人、児童（３～６年生）311 人、地域の方 94 人）
※ 未就学児の保護者の回答は、小学校回答者数の保護者に含む。
・中学校回答者数･･･　363 人（保護者 133 人、生徒 230 人）

⑴　学校の適正規模等に取り組むことについて

１学年に２学級以上となるように学校の適正規模及び適正配置に取り組むことについて、「賛成」の割合は、小学校全体の保護者で約５割、地域の方で約７割、中学校の保護者で約５割となっています。

「ぜひ進めるべき」　又は「進める方がよい」　　と回答した方 ･･･ **賛成**
「進めない方がよい」又は「進めるべきではない」と回答した方 ･･･ **反対**

Q 小中学校ともに１学年に２学級以上必要という考えに基づき、学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて

①　小学校全体及び小学校別

学校名	区　分	賛　成	どちらでもよい	反　対
全体	【保護者】	51.6%	32.0%	16.4%
	【地域】	73.4%	13.8%	12.8%
高森台小	【保護者】	55.7%	31.1%	13.2%
	【地域】	68.9%	20.7%	10.4%
中央台小	【保護者】	56.2%	33.9%	9.9%
	【地域】	75.7%	13.5%	10.8%
東高森台小	【保護者】	40.4%	31.2%	28.4%
	【地域】	75.0%	7.1%	17.9%

②　中学校

学校名	区　分	賛　成	どちらでもよい	反　対
高森台中	【保護者】	54.9%	36.1%	9.0%

Q 前の質問で賛成と回答した方のうち、ご自分の子どもが通う学校、またはお住まいの地域の学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて

① 小学校全体及び小学校別

学校名	区 分	賛 成	どちらでもよい	反 対
全体	【保護者】	92.2%	6.8%	1.0%
	【地域】	97.1%	1.5%	1.4%
高森台小	【保護者】	91.4%	7.5%	1.1%
	【地域】	90.0%	5.0%	5.0%
中央台小	【保護者】	91.2%	7.3%	1.5%
	【地域】	100%	0 %	0 %
東高森台小	【保護者】	95.5%	4.5%	0 %
	【地域】	100%	0 %	0 %

② 中学校

学校名	区 分	賛 成	どちらでもよい	反 対
高森台中	【保護者】	83.6%	16.4%	0 %

⑵ 複数学級を望む声について

１学年に複数学級が望ましいと考えている方は多く、クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができると考えています。

【小学生保護者】

・複数学級が望ましいと考えている人 90.9%

・各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じる理由で「クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」を選択した人 69.0%

【小学生】

・複数学級が望ましいと考えている児童 56.9%

【中学生保護者】

・複数学級が望ましいと考えている人 100%

・各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じる理由で「クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」を選択した人 60.2%

【中学生】

・複数学級が望ましいと考えている生徒 97.0%

⑶　学校生活において重要と思うこと

児童生徒は、体育大会などの行事でクラスに活気があることや、クラス替えができて友達がたくさんできることなどが大事だと考えています。

地域の方は、多くの子どもたちによる人間関係の広がりや、子どもたちの登下校について重要と考えています。

【小学生】

Q 学校生活で大事だと思うこと

・「みんなで相談しながらいっしょに勉強ができること」 40.2%

・「運動会などが楽しくて、クラスが元気なこと」 35.4%

【中学生】

Q 学校生活で大事だと思うこと

・「体育大会などの行事が盛り上がり、クラスに活気があること」 56.5%

・「クラス替えができて、たくさんの友達をつくれること」 46.5%

【地域】

Q 地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うこと

・「多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」 69.1%

・「子どもたちの通学の距離や方法」 54.3%

⑷　魅力ある学校づくりを進めるため、学校の規模や配置を見直す場合に重要と思うこと

保護者は、子どもの人間関係に広がりがあることを重要と考えています。

地域の方は、子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れることが重要と考えています。

【小学生保護者】

Q 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うこと

・「子どもの人間関係に広がりがあること」 59.7%

・「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」 55.7%

【中学生保護者】

Q 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うこと

・「子どもの人間関係に広がりがあること」 56.4%

・「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」 51.9%

【地域】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって重要と思うこと

・「子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」 78.7%

・「学校と地域との連携が図られること」 34.0%

・「緊急時の避難場所が行きやすい場所にあること」 34.0%

⑸　学校の適正規模等の取組において心配なこと

保護者は、登下校に関することを心配と考えています。登下校については、安全性や時間が重要と考えています。

【小学校保護者】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、心配なこと

・「登下校に関すること」 52.1%

・「きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があること」 25.2%

Q 登下校に関して最も重要だと思うこと

・「登下校の安全性」 62.0%

・「登下校にかかる時間」 30.2%

【中学校保護者】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、心配なこと

・「登下校に関すること」 51.1%

・「きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があること」 25.6%

Q 登下校に関して最も重要だと思うこと

・「登下校の安全性」 49.6%

・「登下校にかかる時間」 39.1%

４　石尾台中学校区

・小学校回答者数･･･　918 人（保護者 417 人、児童（３～６年生）374 人、地域の方 127 人）
※ 未就学児の保護者の回答は、小学校回答者数の保護者に含む。
・中学校回答者数･･･　494 人（保護者 200 人、生徒 294 人）

⑴　学校の適正規模等に取り組むことについて

１学年に２学級以上となるように学校の適正規模及び適正配置に取り組むことについて、「賛成」の割合は、小学校全体の保護者で約５割、地域の方で約６割、中学校の保護者で６割となっています。

「ぜひ進めるべき」　又は「進める方がよい」　　と回答した方 ･･･ **賛成**
「進めない方がよい」又は「進めるべきではない」と回答した方 ･･･ **反対**

Q 小中学校ともに１学年に２学級以上必要という考えに基づき、学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて

①　小学校全体及び小学校別

学校名	区　分	賛　成	どちらでもよい	反　対
全　体	【保護者】	54.7%	27.1%	18.2%
	【地域】	64.6%	11.0%	24.4%
玉川小	【保護者】	58.1%	26.4%	15.5%
	【地域】	56.8%	10.8%	32.4%
石尾台小	【保護者】	59.1%	26.3%	14.6%
	【地域】	66.0%	14.0%	20.0%
押沢台小	【保護者】	46.2%	28.8%	25.0%
	【地域】	70.0%	7.5%	22.5%

②　中学校

学校名	区　分	賛　成	どちらでもよい	反　対
石尾台中	【保護者】	60.0%	27.5%	12.5%

Q 前の質問で賛成と回答した方のうち、ご自分の子どもが通う学校、またはお住まいの地域の学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて

① 小学校全体及び小学校別

学校名	区 分	賛 成	どちらでもよい	反 対
全体	【保護者】	89.5%	8.8%	1.7%
	【地域】	95.2%	2.4%	2.4%
玉川小	【保護者】	90.7%	5.8%	3.5%
	【地域】	100%	0 %	0 %
石尾台小	【保護者】	88.9%	9.9%	1.2%
	【地域】	90.9%	3.1%	6.0%
押沢台小	【保護者】	88.5%	11.5%	0 %
	【地域】	96.4%	3.6%	0 %

② 中学校

学校名	区 分	賛 成	どちらでもよい	反 対
石尾台中	【保護者】	85.8%	12.5%	1.7%

⑵ 複数学級を望む声について

１学年に複数学級が望ましいと考えている方は多く、クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができると考えています。

【小学生保護者】

・複数学級が望ましいと考えている人 90.9%

・各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じる理由で「クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」を選択した人 72.7%

【小学生】

・複数学級が望ましいと考えている児童 60.4%

【中学生保護者】

・複数学級が望ましいと考えている人 98.5%

・各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じる理由で「クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」を選択した人 64.5%

【中学生】

・複数学級が望ましいと考えている生徒 96.9%

⑶　学校生活において重要と思うこと

児童生徒は、体育大会などの行事でクラスに活気があることや、クラス替えができて友達がたくさんできることなどが大事だと考えています。

地域の方は、子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育や、子どもたちの登下校について重要と考えています。

【小学生】

Q 学校生活で大事だと思うこと

・「運動会などが楽しくて、クラスが元気なこと」 43.0%

・「みんなで相談しながらいっしょに勉強ができること」 42.2%

【中学生】

Q 学校生活で大事だと思うこと

・「体育大会などの行事が盛り上がり、クラスに活気があること」 67.0%

・「クラス替えができて、たくさんの友達をつくれること」 51.7%

【地域】

Q 地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うこと

・「子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」 59.1%

・「子どもたちの通学の距離や方法」 58.3%

⑷　魅力ある学校づくりを進めるため、学校の規模や配置を見直す場合に重要と思うこと

保護者は、子どもの人間関係に広がりがあることを重要と考えています。

地域の方は、子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れることが重要と考えています。

【小学生保護者】

Q 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うこと

・「子どもの人間関係に広がりがあること」 60.0%

・「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」 54.4%

【中学生保護者】

Q 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うこと

・「子どもの人間関係に広がりがあること」 50.0%

・「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」 40.7%

【地域】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって重要と思うこと

・「子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」 78.7%

・「学校と地域との連携が図られること」 40.2%

⑸　学校の適正規模等の取組において心配なこと

保護者は、登下校に関することを心配と考えています。登下校については、安全性や時間が重要と考えています。

【小学校保護者】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、心配なこと

・「登下校に関すること」 59.5%

・「環境変化による子どもへの影響」 20.1%

Q 登下校に関して最も重要だと思うこと

・「登下校の安全性」 56.4%

・「登下校にかかる時間」 31.4%

【中学校保護者】

Q 学校の規模や配置を見直す場合、心配なこと

・「登下校に関すること」 56.0%

・「きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があること」 23.0%

Q 登下校に関して最も重要だと思うこと

・「登下校の安全性」 46.5%

・「登下校にかかる時間」 32.0%